原宿駅／明治神宮前駅ものがたり

●明治神宮

JR原宿駅、東京メトロ明治神宮駅で降りて神宮橋を渡ると右手に見えてくるのがこの大鳥居。高さ12メートル、幅17.1メートル、柱の太さは1.2メートルもあります。その重量は約13トン。木造の明神鳥居としては、日本一を誇っています。

・アクセス

原宿駅・表参道出口／明治神宮前駅 出口1より徒歩1分

参拝者用駐車場あり

●明治神宮御苑

江戸時代初期以来加藤家、井伊家の下屋敷の庭園でしたが、明治時代に宮内省の所轄となり、代々木御苑と称されました。苑内には隔雲亭、お釣台、四阿、菖蒲田、清正井などがあります。

菖蒲田の花菖蒲は、明治天皇が昭憲皇太后のために植えさせられたもので、現在も大切に守り育てられ、6月には見事な花を咲かせ、来苑者の目を楽しませてくれています。

・アクセス

原宿駅・表参道出口／明治神宮前駅 出口1より徒歩5分

参拝者用駐車場あり

●明治神宮の杜

明治神宮には一般に公開されている御苑のほかに、非公開の杜があります。航空写真などでみると社殿を囲むように深い緑に覆われた広大な自然林が確認できます。一見すると雄大な天然林のように見えますが、実はこの森は人が作り出した森なのです！

1912（明治45）年7月30日、明治天皇が崩御なされ、その後全国各地から御聖徳（明治天皇）をしのぶ声が上がり、その声に応えるように政府は翌年、「神社奉祀調査会」を組織し、鎮守の杜の候補地の選定を始めました。当時の記録によると全国各地の約40個所が候補地として挙げられましたが、明治天皇に縁の深い東京を念頭に、東京府内の陸軍戸山学校、白金火薬庫跡、青山練兵場跡（現在の神宮外苑）、代々木御料地の4個所に絞られ、最終的に代々木御料地に鎮守の杜をつくることになりました。この代々木御料地があった場所が、現在の明治神宮なのです。

●国立代々木競技場

1964年（昭和39年）の東京オリンピックの開催に備えて建設された国立代々木競技場は、同大会のサブ会場として使用されたもので、メインアリーナとなる第1体育館、第二体育館（別館）さまざまな競技が行われました。

オリンピック後も同競技場ではさまざまな大会が開催されています。また、第1体育館ではコンサートなどのイベント会場といても利用されています。NHKのお昼のニュースなどで映されているので見たことがある人も多いと思います。建築家丹下 健三氏の代表作で、美しい吊り屋根構造が特長です。第二体育館は円錐形の天井が見事な、すり鉢状の体育館となっています。

・アクセス

原宿駅・表参道出口／明治神宮前駅 出口1より徒歩5分

利用者専用駐車場あり